

依佐美中学校の校歌の歌詞には
校歌を作った当時の依佐美中学校の先生や生徒た
ちの、熱い願いが込められています

作詞 丸山 薫 (まるやま かおる)
作曲 松本 民之助 (まつもと たみのすけ)

1 東海の あおみの広野

東海にあり碧海台地に位置する依佐美中学校は
ひかり増す 希望の空よ
太陽のひかりで満ちあふれ 希望でいっぱいの空の下にあります
ああわれら 依佐美の子
僕たち私たち 依中生は
くもりなき 教えの朝に
心晴れやかに みんなで学ぶ1日をスタートし
すこやかに はぐくみゆかん
病気もせず健康に 大切に育てていきます
未来(あす)を咲く 自由【校訓】の命
未来を切り開いていく 一人一人の考えや思いを

2 ゆたかなる みのりに映えて

秋には 豊に 実った稲穂であたりは一面におおわれる
さかえ呼ぶ 明治の流
碧海野を繁栄させる 明治用水の流れのもとに依佐美中学校はあります
ああ たのし 依佐美の子
充実して楽しい毎日 依佐美中の仲間との生活
進取(しんしゅ)踏む 鍛えの庭に
進んで物事に取り組み 心身を鍛える学校で
眉あげて 抱(いだ)いてゆかん
喜んで 希望をいだいていきます
とこしえの 平和【校訓】の理想
永遠の 平和の理想を求めて

3 あこがれは 鈴鹿か木曾か

理想とするものは 依佐美中から見える 鈴鹿や木曾の山々と同じぐらいであり
さやかにも そびゆる高嶺
その山々は美しく見えるだけでなく、周りのどの山よりも高くそびえ立っています。
ああ 清し 依佐美の子
さわやかで けがれのない 依中生は
はげむ業 知性の窓に
一生懸命勉強をかんばん、物事を考え判断する力を付けて
おおろかに 求めてゆかん
ゆったりと大きな心をもって 追究していきます
あたらしき 真理【校訓】の道を
新しい 真理の道を